

沖縄県平和祈念資料館だより



～ 未来へつなぐ“体験者の記憶”～

史上まれに見る苛烈を極めた沖縄戦では、約3カ月に及ぶ「鉄の暴風」が、20数万人の尊い命を奪い去り、美しい自然や貴重な文化遺産をも破壊しました。地獄のような戦場をくぐりぬけ、愛する家族を失いながらも、辛うじて生き延びた人々の心と身体には生涯消えることのない深い傷を残しました。

あれから今年で78年もの歳月が過ぎ、戦争を体験した世代が高齢化によって年々減少していくなかで、その記憶と記録の継承はより一層重要となっています。戦争体験者は、凄惨な地上戦の実態や多岐にわたる戦争被害を生々しく浮かび上がらせ、戦争を知らない世代に、悲しくも凄絶な戦争の記憶を語りかけてきました。今後は、そのように体験者から直に話を聞けなくなる日が確実に近づいています。沖縄戦を語る上で、物的資料が少ない中、戦争により無念の思いで亡くなっていった人々を代弁できるのは、戦争を体験した方々の証言であり、その証言の数々は貴重な歴史資料となります。

沖縄県平和祈念資料館では設立以来、沖縄戦を体験した方々の証言を通して、戦争の実相と愚かさを次代に正しく伝え、恒久平和の樹立に寄与するために、体験者の証言を収録し、公開・発信してまいりました。その蓄積である戦争体験証言は、常設展示室や情報ライブラリーにおいて文章や映像としてご覧いただけます。また、平和学習などにも活用できるよう、収録する映像の中から200件以上を、当資料館のホームページや特設サイト等から公開しております。さらに、海外にも広く発信できるよう、多言語化にも取り組んでおります。インターネットを通して公開している証言映像は、以下の場所からご覧いただけますので、多くの皆様にご活用いただきたいと思います。(写真は6月23日慰霊の日の展示室の様子)

沖縄県平和祈念資料館ホームページより公開中

- * 「戦世の記憶」戦争体験者証言映像 (70名分)
- * 「戦世からのあゆみ」戦争体験者戦中・戦後の証言映像 (30名分)
- * 「世替わりを生きて」戦後の証言映像 (20名分)



沖縄県の特設Webサイトより

- * 平和学習アーカイブ(102名分)



- * 沖縄戦継承事業
「戦争動員された21校の学徒隊」
【学校別：21校の概要と証言】



2023(令和5)年度 第22回 特別企画展「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」

期間 2023(令和5)年10月13日(金)～2024(令和6)年1月24日(水)

場所 沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室

令和5年度の特別企画展は、「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」をテーマに取り扱います。

展示では沖縄島北部に残る戦争遺跡・跡地として、忠魂碑など戦意高揚に関わる記念碑や民間防空監視哨をはじめとする沖縄戦以前の戦争遺跡や、日本軍の陣地跡や住民避難壕跡、御真影奉護壕、被災痕跡などの沖縄戦に関わる戦争遺跡、米軍が上陸後に設置した収容所跡地などを中心に、写真パネルを中心に紹介しています。

沖縄戦体験者が減りつつある中、戦争遺跡は沖縄戦の実態を後世に伝える場として、その存在は注目されるようになりました。体験者の証言や説明を聞くことと併せて、戦争遺跡を調べて歴史を学ぶことは、沖縄戦の歴史的背景を多面的・多角的に知る上で重要なことだと思います。来館された方が様々な視点で戦後の沖縄と平和について捉える事により、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する機会といたします。

【主な展示資料】 *戦争遺跡・跡地の写真 *体験者の証言
*戦争遺跡の模型や図面

2023(令和5)年 10.13(金)～1.24(水)
9:00～17:00 (最終入館は16:30) 最終入館
沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室
沖縄県平和祈念資料館
〒991-0233 沖縄県糸島市字津文(61)1-1 本館
TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
webmaster@peace-museum.okinawa.jp http://www.peace-museum.okinawa.jp/

入場無料

【学芸員コラム】戦跡調査を終えて

今回の企画展を実施するにあたり、約10年ぶりに沖縄島北部で戦争遺跡等の調査を実施いたしました。戦争遺跡の中には、文化財として保護され平和学習の場として活用されている遺跡もありましたが、開発や崩落により埋没・消失したとみられる遺跡もありました。今回の企画展では、戦争遺跡の写真とともに、一部の遺跡については、より伝わりやすくするために図面や模型を作成して展示しています。ご覧頂ければ幸いです。



痕が残る給水タンク(名護市:愛楽園内)



本部監視哨跡(本部町)



源河大湿帯の御真影奉護壕跡(名護市)

第1回 ギャラリー展 「体験者が描いた沖縄戦～言葉だけではない、絵で伝える記憶～」

期間 2023(令和5)年5月1日(月)～11月6日(月)

沖縄戦から78年が経過し、熾烈な沖縄戦を生き延びた体験者の話を聞く機会が失われつつあります。そのため、沖縄戦の記憶をどのように継承していくかが課題となっています。

そこで、今回のギャラリー展では、沖縄戦体験者の方々が自身の過酷な体験を思い出し、描いた「沖縄戦の絵」を展示しています。この展示で、体験者が忘れる去ることができなかった沖縄戦の記憶を言葉だけでなく、絵をとおして追体験し、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会となれば幸いです。



2023(令和5)年度 第3回 子ども・プロセス企画展「戦争と人びとの暮らし」

期間 2023(令和5)年10月19日(木)～2024(令和6)年1月21日(日)

場所 子ども・プロセス展示室「ひろば・ゆいまーる」

沖縄は、太平洋戦争で住民を巻き込んだ地上戦の場となり、多くの尊い命とかけがえない文化遺産を失いました。この悲惨な戦争体験を風化させることなく、歴史的教訓を正しく次の世代に伝えていかなければなりません。

今回の企画展「戦争と人びとの暮らし」では、満州事変から太平洋戦争終結までの約15年間を中心に、国民の生活がどのように変化したのかを様々な面から展示します。また、戦争によって日本各地が壊滅的な被害を受けたことや、日本がアジアの各地に大きな被害を与えたことなどについても取り上げます。戦時下を生きた人びとの姿を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、子どもたち一人ひとりが考える機会とします。

【主な展示資料】

- *実物資料(臨時召集令状、千人針、衣料切符、モンペ、戦時債券、カルタ、慰問文)
- *戦時中の教科書、雑誌、新聞、ポスター(実物や複製版)
- *写真パネル

2023(令和5)年 10.19(木)～1.21(日)
9:00～17:00 (最終入館は16:30) 最終入館
沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室
子ども・プロセス展示室「ひろば・ゆいまーる」

入場無料

2023(令和5)年度 「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業

期間 2023(令和5)年11月25日(土)14:00～16:30(開場13:30)

場所 沖縄県市町村自治会館(那覇市旭町)2階ホール

本事業は、若世代への戦争体験などの継承、アジア諸国との相互理解、平和構築のためのネットワークを目指した、沖縄県主催の人材育成事業です。5回目となる今年度は、沖縄、広島、長崎、台湾、韓国、ベトナム、カンボジアからの大学生が事前研修を行ったのち沖縄に集い、県内での視察や意見交換を行いました。

過去からの教訓は未来を明るく照らす叡智に満ちています。多様な進化をとげてきたアジア地域の歴史は、私たちに何を教えてくれるのでしょうか。国内外からやってきた7地域の大学生とともに、「あしたのアジア」をよくするヒントについて考えます。

第1部: プレゼンテーション	
14:10～15:10 (60分)	7地域からの大学生が沖縄で得た学びや、継承についての考えを発表します。 [登壇者] 沖縄県・広島県・長崎県・台湾・韓国・ベトナム・カンボジアからの参加者
休憩 (10分)	
第2部: パネルディスカッション	
15:20～16:30 (70分)	歴史から学ぶ人間～止まらない争い～ モデレーター: 新垣誠氏 (沖縄キリスト教学院大学教授)

平和の思い シンポジウム
あしたのアジア
11月25日(土)
沖縄県市町村自治会館2階ホール
2:00pm - 4:30pm (開場 1:30pm)
新垣 誠氏 (沖縄キリスト教学院大学 教授)

沖縄県平和祈念資料館に来館された方々 (6月18日・6月23日)

韓国済州道副知事来館 (6月18日)

韓国・済州特別自治道の金熹鉉(キム・ヒヒョン)副知事が沖縄を訪問され、沖縄県平和祈念公園及び当資料館への来館後、韓国人慰霊の塔を参拝されました。



韓国済州4・3平和財団来館 (6月23日)

韓国の「済州4・3平和財団」の高喜範(コ・ヒボム)理事長が平和祈念公園内の韓国人慰霊の塔を参拝し、「沖縄全戦没者追悼式」に出席された後、当資料館を視察されました。



浜田防衛大臣来館 (6月23日)

浜田靖一防衛大臣が、「沖縄全戦没者追悼式」の当日、当資料館を視察されました。視察には、航空自衛隊南西航空方面隊の谷嶋正仁司令官も同行されていました。



山田外務副大臣来館 (6月23日)

山田賢司外務副大臣が、「沖縄全戦没者追悼式」の当日、当資料館を視察されました。館内では、戦争体験者の証書もご覧になりました。



慰霊の日の来館者の様子

6月23日(金)の慰霊の日、沖縄県主催の「沖縄全戦没者追悼式」が平和祈念公園で開かれ、今年も多くの方々参列して犠牲者に祈りをささげるとともに、恒久平和を誓いました。例年、慰霊の日は常設展示室の観覧を無料開放し、開館時間を午後6時まで延長しています。今年は5,571人が来館し、常設展示室には、2,959人の観覧者が入場しました。展示室では、多くの家族連れが熱心に資料を見ている様子が見られました。

その他、館内では「児童・生徒の平和メッセージ展」、第1回子ども・プロセス展「沖縄が戦場になった日」、「慰霊の日ビデオ上映会」などが開催され、平和への願いを新たにするとともに、



昨年12月～今年4月末までの休館(建物・設備の改修工事のため)の際には、皆様にご迷惑をおかけしましたが、5月の開館以降、県内外のみならず海外からも多くの方々来館されています。心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



第33回「児童・生徒の平和メッセージ」報告

今回で33回目を迎える「児童・生徒の平和メッセージ」事業は、当館の主要事業の1つです。県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒に、日常生活の中で「平和の心や意識」を育み、県内をはじめ国内外に平和のメッセージを発信するため、沖縄県教育委員会との共催で実施しています。

今年は県内の98校から2,243点の応募がありました。これらの多くの作品の中から、見事に入賞した優秀作品(最優秀賞・優秀賞)を当館の展示会を皮切りに、八重山平和祈念館、宮古島市未来創造センター、名護市立中央図書館、沖縄県立図書館の4会場で巡回展示いたしました。図画・作文・詩のいずれの作品も、児童・生徒のみならずの平和への純粋な思いが込められており、子どもから大人まで展示会に来られた多くの方々の心に強い感動と感銘を与えていました。



沖縄県平和祈念資料館	八重山平和祈念館	名護市立中央図書館
6月23日(金)～7月3日(月)	7月12日(水)～7月21日(金)	9月7日(木)～9月16日(土)
8月19日(土)～8月31日(木)	宮古島市未来創造センター 7月28日(金)～8月6日(日)	沖縄県立図書館 9月27日(水)～10月9日(月)



教育機関との連携 (インターンシップ・博物館学芸員実習)

高校生のインターンシップ

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。以下のとおり、県立高校から6名の実習生を受け入れました。高校生たちは3日間の体験をとおして、沖縄戦や当資料館の取り組みについて学びを深めていました。

南部商業高校
7月5日(水)～7月7日(金)
沖縄水産高校
7月11日(火)～7月13日(木)

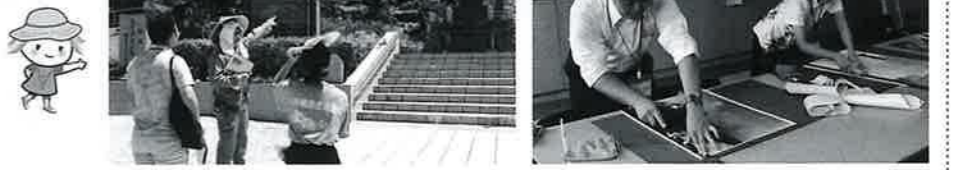


博物館学芸員実習の受け入れ

当資料館では、県内外の大学で学芸員資格を得ようとする学生の実習を受け入れています。当資料館の事業や活動の一端を学ぶことを通して、学芸員としての資質を磨くことを目的としています。

今年度は、沖縄国際大学から2名の実習生が実習に励みました。実習期間中は、当資料館の事業や活動をとおり、資料館の果たす役割やさまざまな資料の取り扱い、平和の発信について学びを深めていました。

沖縄国際大学 (2名)
8月23日(水)～8月31日(木)
※最終日には、成果発表会も実施



八重山平和祈念館 活動報告

(1) 地域内教員向け見学説明会

期日 2023 (令和5) 年8月1日 (火)
※ 4月中旬に募集 (参加希望者に合わせて実施)

地域の小中学校において、平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、地域内の教員を対象とした見学説明会を実施しました。

説明会では、当館利用にあたっての手続き方法、常設展示の解説を行い、中学校初任者等7名の教員の方々にご参加いただきました。



(2) 八重山平和祈念館企画展「八重山の戦争」展

期間 2023 (令和5) 年6月1日 (木) ~ 7月2日 (日)

八重山地域における、戦前から戦時中の写真や絵、解説パネルや実物資料、戦争マリア体験者の証言などを展示しました。また、企画展中の6月23日慰霊の日には、戦争に関するアニメDVD上映会を実施しました。

6月は最も来館者の多い時期ということもあり、多くの人々に、常設展だけでは伝えきれない、より深い「八重山の戦争」の実相をお伝えする機会となりました。

【観覧者】 1,478名 (大人698名、小人780名)



(3) 夏休み企画展「絵と絵本で語り継ぐ沖縄戦」

期間 2023 (令和5) 年8月1日 (火) ~ 9月3日 (日)

米軍が撮影した写真や記録ではなく、戦争体験者によって描かれた「戦争体験者が描く沖縄戦の絵」を中心に展示し、攻撃された側からの視点から、戦争当時の記録・記憶と向かい合う機会としました。

また、夏休み期間の子ども達の観覧を見込み、沖縄戦等に関する絵本など、多数の図書を図書コーナーに設置しました。

【観覧者】 456名 (大人295名、小人161名)



沖縄県平和祈念資料館友の会 活動報告

沖縄県平和祈念資料館友の会では、資料館と連携しながら学習会やフィールドワークを自主的に行うとともに、県内学校及び地域における平和学習支援や平和講話、戦跡案内やポイントガイドなどの活動を行っています。

今年度は、フィールドワークや学習会などに会員や関係者を含め多くの方々に参加し、学びを深めていました。

平和学習フィールドワーク

- ① 「浦添市城間アイテムポケットとマチナト飛行場」
【日時】2023(令和5)年4月29日(土)10:00~13:00
【参加者】80名
- ② 「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」
【日時】2023(令和5)年5月21日(日)10:00~13:00
【参加者】100名



平和学習会：被爆体験伝承講話

【日時】2023(令和5)年8月20日(日)13:00~14:30
【会場】沖縄県平和祈念資料館平和祈念ホール
【講師】山岡美知子さん(被爆2世：広島市の被爆体験伝承者)
【参加者】60名



児童・生徒の 平和メッセーヅ

今回も多くの応募がありました。図画 1,032点、作文 278点、詩 933点の中から入賞されたみなさん、おめでとうございます。

入選者一覧 (優良賞以上)

● 図画部門 入選者

小学校(低)の部 (10名)		
最優秀賞	森 つぐみ	高江小2年
優秀賞	徳元 穂菜	山内小3年
	島袋 日南彩	北玉小3年
優良賞	嘉手川 莉帆	八島小3年
	山田 笑愛	八島小3年
	長賀 大真	八島小3年
	島袋 文音	高江小2年
	清知 水環	高江小2年
	松川 優良	天久小2年
		海星小3年
小学校(高)の部 (11名)		
最優秀賞	知念 心音	ゆたか小6年
優秀賞	長嶺 芽生	ゆたか小6年
	兼本 向羽子	浦添小6年
優良賞	知念 由依	天久小4年
	日向 ことり	知念小6年
	徳元 千時	山内小6年
	前泊 可奈	浦添小6年
	宮城 志帆	翔南小6年
	野底 禾琳	ゆたか小6年
	金城 織依南	伊良波小6年
	嘉手苺 さほ	上田小6年
中学校の部 (10名)		
最優秀賞	砂川 理々那	港川中3年
優秀賞	平良 未菜	石垣第二中3年
	金城 利知	玉城中2年
優良賞	田中 みくる	港川中1年
	及川 明璃	港川中3年
	伊良部 結生	仲井真中2年
	森田 心優	港川中1年
	花城 くるみ	玉城中2年
	湧川 寧々	安岡中3年
	星加 祐菜	石垣中3年
高等学校の部 (10名)		
最優秀賞	宮平 愛香	小禄高2年
優秀賞	與那嶺 凜香	開邦高2年
	仲辻 宇沙子	八重山高3年
優良賞	大城 美結	コザ高3年
	與那覇 凜	浦添工業高1年
	奈良岡 歩倫	開邦高2年
	盛岡 美有	浦添工業高1年
	玉城 育人	浦添工業高2年
	喜友名 沙姫良	小禄高2年
	鈴木 七夏海	小禄高1年
特別支援の部 (10名)		
最優秀賞	武元 啓亮	崎枝小6年
優秀賞	知念 琉愛	美東小6年
	森田 和	崎枝小5年
優良賞	仲村 煌	普天間小6年
	翁長 みみ	城東小6年
	與那覇 結萌	ゆたか小6年
	町田 寧音	山内小6年
	大城 陽人	ゆたか小6年
	浜名 翠	ゆたか小6年
	森園 遼介	城東小6年

● 作文部門 入選者

小学校(低)の部 (3名)	
最優秀賞	與座 悠真 港川小2年
優秀賞	知念 慶 天久小2年
優良賞	徳元 穂菜 山内小3年
小学校(高)の部 (2名)	
最優秀賞	該当者なし
優秀賞	宇都宮 琉愛 豊崎小6年
優良賞	徳元 千時 山内小6年
中学校の部 (10名)	
最優秀賞	池城 咲花 石垣中2年
優秀賞	山城 成騎 開邦中2年
	我那覇 紗玖来 真和志中2年
優良賞	大嶺 紗和 開邦中2年
	惣慶 美優 豊見城中2年
	上原 まりな 沖縄7ミクス中3年
	田幸 柚花 開邦中2年
	小野 航太朗 開邦中3年
	西銘 里彩 長嶺中3年
	新垣 結菜 開邦中1年
高等学校の部 (9名)	
最優秀賞	城間 一華 向陽高1年
優秀賞	賀数 ふき 開邦高2年
	大城 陽菜 開邦高1年
	赤嶺 仁 首里高3年
優良賞	高良 百花 首里高3年
	山内 玲奈 向陽高1年
	武田 小夏 向陽高2年
	島袋 安未 具志川高2年
	笈沼 美妃 向陽高2年
特別支援の部 (6名)	
最優秀賞	斗沢 ウタ 長嶺中2年
優秀賞	新里 優真 沖繩高等特支1年
	松長 花奈 沖繩高等特支2年
優良賞	仲宗根 虹花 沖繩高等特支2年
	高江洲 優依茄 沖繩高等特支2年
	玉城 有利彩 沖繩高等特支2年

● 詩部門 入選者

小学校(低)の部 (7名)	
最優秀賞	知念 慶 天久小2年
優秀賞	神里 碧良 翔南小3年
	上地 颯太 八島小3年
	當間 稀子 白川小2年
優良賞	嘉手川 莉帆 八島小3年
	多和田 翼 下地小2年
	峰 夏心 八島小3年
小学校(高)の部 (8名)	
最優秀賞	浦崎 直生 城岳小5年
優秀賞	比嘉 愛梨 仲井真小6年
	知念 由依 天久小4年
優良賞	金城 一華 ゆたか小6年
	谷川 昊優 仲井真小6年
	比嘉 鳳翔 とよみ小6年
	赤嶺 詩 与那原小5年
	山城 希里 仲井真小6年
中学校の部 (10名)	
最優秀賞	世名城 藍花 開邦中3年
優秀賞	島袋 里音 長嶺中3年
	安仁屋 学都 開邦中1年
優良賞	馬屋原 由唯 開邦中1年
	新川 紗矢 開邦中2年
	伊敷 実花 具志頭中1年
	諸見謝 芽生 具志頭中1年
	田場 小晴 伊良波中2年
	友利 優香 開邦中3年
	仲間 美結 長嶺中3年
高等学校の部 (9名)	
最優秀賞	平安名 秋 つばし 開成高3年
優秀賞	大城 洋輔 八重山高1年
	島袋 葵 那覇高3年
	宮里 ありさ 那覇西高3年
優良賞	具志 日和 開邦高3年
	与儀 夏芭 那覇高3年
	桃原 莉々香 那覇西高3年
	桃原 美空 那覇高3年
	藏屋 美羽 那覇高3年
特別支援の部 (4名)	
最優秀賞	中島 璃斗 普天間第二小1年
優秀賞	平 暖心 沖繩高等特支3年
優良賞	平田 青 鏡が丘特支1年
	當間 叶望 鏡が丘特支2年

今、平和は問いかける

私立つくば開成国際高等学校三年 平安名 秋

夏六月
溶けかけたアイスを手走り出す
緑萌ゆるこの島の昼下がりに

礎に刻まれた「兄」に
まるであの日のように
そっと触れるおばあちゃんの涙は
陽炎が登る摩文仁の丘に
ただ果てしなく広がっていく

私の涙は体を包み込み
私を「あの日」へといざなう

限らないこの空は
何を覚えておられるのだろう
涙に満たれたおばあちゃんの瞳は
何を語りかけているのだろう

七十八年前の
あの日
あの時
かけがえのない
たつたひとつの命が
憎しみと悲しみの中で
散っていった

名も無き赤子の
微かな
微かな泣き声は
震える母の手によって
冷たく光の無いガマの中で
儚く消えていった

幾多もの砲弾が
紺碧の海を黒く染める鉄の嵐となって
この島に降り注いだ

戦争が起きる前
そこには日常があった

私達と同じように
原っぱを駆け回り
友達とおしゃべりする
みんなて暖かいご飯を食べ

時には泣き
時には笑い
時には「ありがとう」を伝える
そんな今と変わらない日常が
平和が
そこにはあった

平和は不確かだ
脆く崩れやすい
いつもすぐそばにあるのに
いつのまにか消えていく

おばあちゃんの涙は
摩文仁の丘に永遠に灯る平和の火は
今、私達に問いかける

平和とは何かを
私達に出来ることは何かを
私は過去から学び
そして未来へと語り継いでいきたい
おばあちゃんの涙を
沖繩の想いを

かけがえのない人達を
決して失いたくはないから
今日も時は過ぎていく
いつもと変わらずに
先人達が紡いできた平和を
次は私達が紡いでいこう

そして世界に届けていきたい
平和を創り
守っていく
この沖繩の「チムグルル」を

私達と同じように
原っぱを駆け回り
友達とおしゃべりする
みんなて暖かいご飯を食べ



「児童・生徒の平和メッセージ」入賞作品（最優秀）の中から、詩と図画を紹介します。

特別支援の部



「平和な世界を沖縄と石垣から」
崎枝小学校6年 武元 啓亮

小学校(低)の部



「せかい中のみんななかよし」
高江小学校2年 森 つぐみ

第33回
「児童・生徒の
平和メッセージ」

図画部門最優秀作品

小学校(高)の部



「平和の笑顔が続きますように」
ゆたか小学校6年 知念 心音

中学校の部



「沖縄から平和を紡ぐ」
港川中学校3年 砂川 理々那

高等学校の部



「この願い、届いて」
小禄高等学校2年 宮平 愛香

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
Email webmaster@peace-museum.okinawa.jp

